

静岡県東部でも「大雪警報」



南海上を発達しながら進んだ低気圧の影響で、2月8日（土）と14日（金）に県内の東部、伊豆など広い範囲で雪になり、平野部でも積雪となりました。静岡地方気象台は一時、県東部、伊豆北、中部北に「大雪警報」を発表し、新東名高速道路が開通後初の全線通行止めとなるなど、交通網も大混乱となりました。沼津市でも45年ぶりの記録的な大雪でした。学校のグラウンドや鷲頭山にも積雪がありました。しかし、江浦湾や駿河湾の海は比熱が大きく、熱を保つことができるため、その海上からの大気は温かく、深雪を許しません。これも豊かな海をもつ静浦の利点だろうと思います。



志下山も雪化粧

さて、「立春」（今年2月4日）とは、冬至と春分の日の中間にあたる日をいいますが、実はこの頃が寒さが最も厳しいとされています。インフルエンザの流行も2月がピークだという報道もあるので、まだまだ油断することなく、健康管理には十分留意してほしいと思います。



鬼は外！ 福は内！ 学校で豆まき！



2月3日は「節分」。節分は「季節を分ける」と書くように、実は季節の変わり目毎にあるものです。季節の分かれ目とは、前述したように、「立春」、そして「立夏」、「立秋」、「立冬」の事です。それぞれ、その前日が、節分と呼ばれています。その中で、日本人は、一年の始まりを「春」と位置づける習慣がありました。その春の始まりが、「立春」であるところから、立春の前日の、**2月3日が節分**として、代表される習慣ができたよう



【望月先生の鬼に生徒が大喜び】

です。「鬼は外、福は内」と言いながら豆を撒き、季節の変わり目に多い病気や天災などの厄を鬼に見立てて追い出し、戸口に鰯の頭を刺した柊を取り付けて生臭さを嫌う鬼（厄）を近づけないようにする風習が伝承されているのです。さて、写真のように、校内でも先生が鬼に扮して楽しく「豆まき」を行いました。おかげで、流行始めたかと思われたインフルエンザもおさまりました。

私立高校入学試験(3年生) 及び 高校生講話(2年生)

2月6日（木）・7日（金）に私立高校の入学選抜試験が実施されました。前々日と前日の2日間を使って、入念な事前指導を行い、3年生の多くが入学選抜試験に臨みました。地域を離れ、一人ひとりの目標に沿った学校や学科の試験に挑戦することは、生徒にとっては大きな精神的試練です。しかし、いよいよ義務教育を終える3年生にとって、「進路選択」という壁はどうしても乗り越えていかなければならないものです。職員一同で、3年生一人ひとりの健闘を祈った2日間でした。

3年生が選抜試験に臨んだ日、校内では第3時間目に、2年生を対象として「卒業生から高校生活についての話を聴く会」を実施しました。高校生たちは、入学選抜試験が実施されている当日は、自校への登校が禁止されています。そこで後輩である本校の生徒たちに高校やその学校生活について紹介をしてもらいました。2年生の生徒たちは、来校してくれた高校生たちに気軽に質問をして、高校生活への興味関心を深めている様子が見受けられました。本校では、職場体験や職業講話、進路先説明会（高校の先生方の講話）等に加え、こうした身近な先輩たちとの交流を通して、**キャリア教育（進路についての学習）**を進めています。



部活動の説明をする卒業生



先輩を囲んで、気軽に質問する生徒たち

小学生対象の授業参観と部活動見学会を実施

2月10日（月）に、静浦小の6年生を対象とした「授業参観会及び部活動体験会」を実施しました。4月から小中一貫校として再スタートする本校ですが、中学生の授業や部活動の様子を観たり、体験したりすることは、児童にとって有意義な機会です。

また、今後、小中一貫校で生活するにしても、外部からは「中学生」として見られることは間違いありません。中学生生活への「スムーズな移行の機会」、そして、中学生になるという「自覚を促す機会」として昨年度から実施しています。



中学生の授業の様子を参観



中学生の生活の説明を受ける様子



部活動の見学及び体験の様子（テニス部・吹奏楽部）



インフルエンザによる学級閉鎖の補習授業



市内小中学校ではインフルエンザが流行しています。本校でも、1月28日に3年生で5人のインフルエンザによる欠席者が出たため、1月29日（水）から30日（金）までの3日間、3年生の1学級を「学級閉鎖」としました。私立高校の受験日が迫っていたため、迅速に対応し、感染拡大を防ぎました。学級閉鎖した翌週からは欠席者がなくなり、3年生は無事に受験を終えることができました。閉鎖した該当学級では、放課後に補習授業を実施しています。現在は、静浦小学校でインフルエンザが流行しているようです。油断することなく、うがい、手洗い、マスクの使用等を心がけましょう。



3年生の補習授業の様子



～静浦中学校～ メモリーズ（memories）

2月も下旬に入り、卒業式や修了式まで、残すところ1ヶ月余りになりました。同時に、静浦中学校としての単独の教育活動も残りわずかとなりました。「静浦中学校 第67回卒業証書授与式」及び「平成25年度 修了式」をもって本校教育の歴史がひと区切りとなります。旧静浦中の獅子浜校舎も現在の旧静浦西小校舎も、当時の静浦の地域住民の皆さんの希望と熱意、そして努力があって誕生した学校であるという歴史を思う時、深い感慨と感謝の念が湧き上がってきます。そこで、今月号及び来月号で、学校に残る懐かしい資料を紹介していきたいと思います。

現在の静浦中校舎は、「旧静浦西小学校校舎」です。静浦西小は、昭和26年4月7日、静浦小学校の分校として開校しました。左下の写真は、同年6月6日の開校式の様子です。子供たちに混じって多くの地域の方が参列している様子がわかります。開校時の校地はまだ狭く、施設・設備は粗末であったものの、教育後援会やPTA、地域住民の方の尽力を得て、拡充していったという記録が残っています。中央は校地をある程度拡充できた頃の写真です。2階建ての木造校舎は、今の校舎とほぼ同じ位置に建っています。（静西小20周年記念冊子より）



昭和26年6月6日 開校式



昭和45年当時の静西小校舎（デジタル処理済み）



現在の静浦中校舎



2月22日（土）・23日（日）の静岡県中学選抜野球大会に本校野球部が代表校として**2年連続出場**します！